

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.35	1.98	100.00	4,950

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,416	241.01	55.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
263	0.07	3,757.14

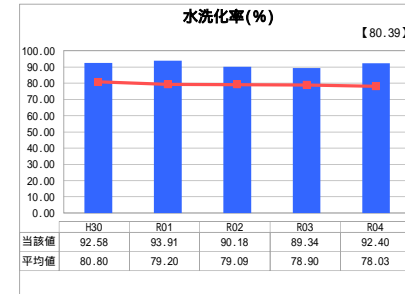
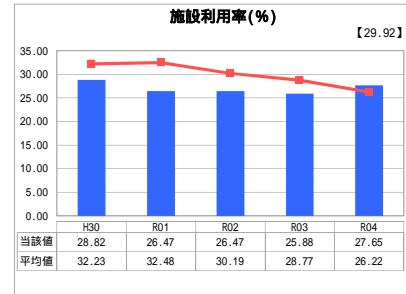
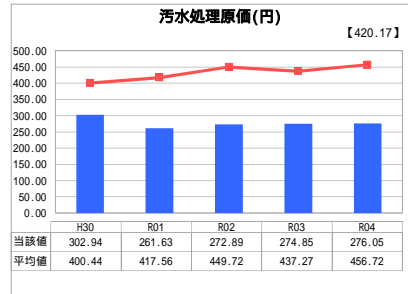
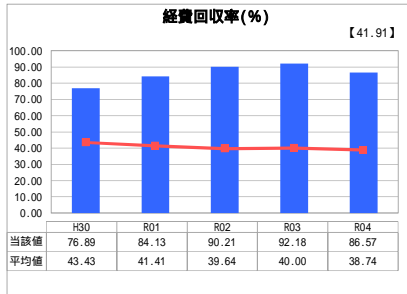
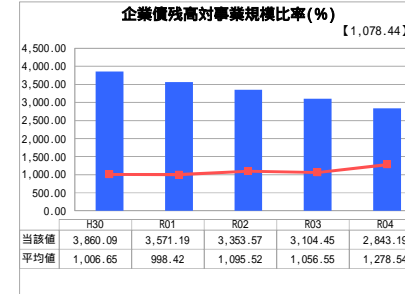
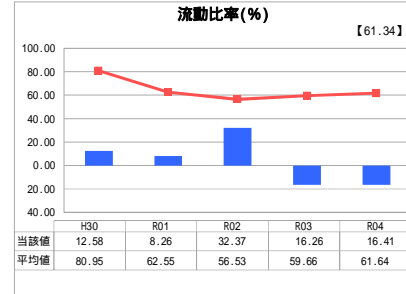
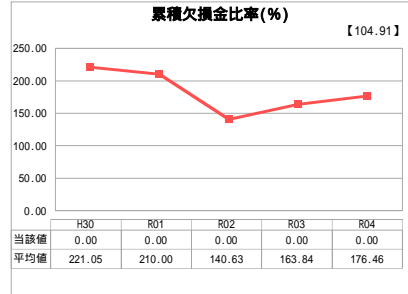
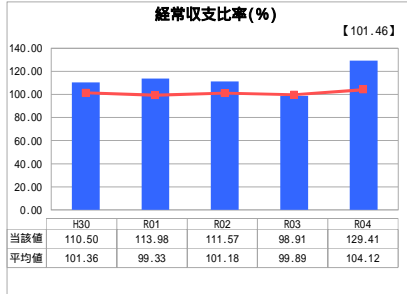
グラフ凡例

当該団体値(当該値)

- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は減価償却費の減により30.50ポイントの増となり、100%を上回る状況となった。累積欠損金は当町では発生していない。流動比率は、対前年比0.15の減となり、マイナスが継続している。企業債残高対事業規模比率は、企業債償還のピークが過ぎ下降傾向にあるが、類似団体平均値と比べると高い状況で推移している。経費回収率は対前年比5.61ポイントの減で86.57%となった、100%以上に向け経費の抑制など対策が必要である。

汚水処理原価は類似団体平均値より低く、汚水処理費が抑えられている現状にある。施設利用率は類似団体平均値とほぼ同程度となっている。水洗化率は類似団体平均値を上回っている。

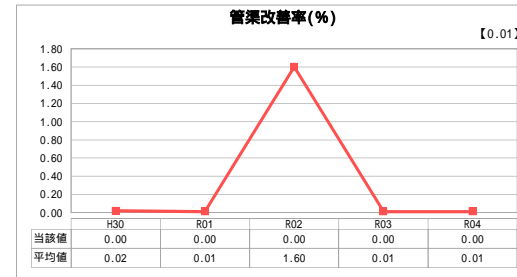
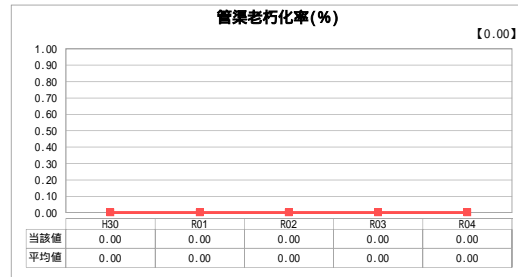
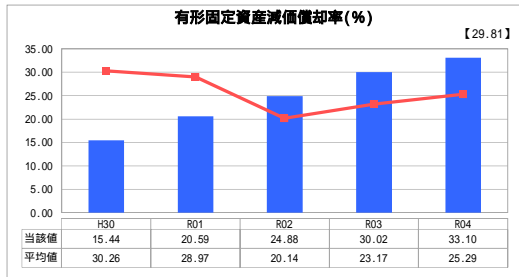
経営の健全性・効率性を考えるうえで、引き続き経費の節減に向けた検討を進めていく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は対前年比3.08ポイント上昇し、法定耐用年数に近づいている固定資産が増加傾向にあることを示している。管渠の更新・改良は、現在予定がない。

施設供用開始から21年経過しており、経年劣化による修繕等が必要となっている。R2年度に策定した機能保全計画により、計画に沿った施設の整備を進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

R2年度に策定した機能保全計画を経営戦略に盛り込み、投資の合理化を図り、健全で効率的な経営を目指し取り組んでいく。